

交通安全スローガンをつくろう

令和8年度から令和12年度の5年間にわたって使用する

茨城県交通安全運動のスローガンを募集します

裏面を参考に各部門のテーマにあったスローガンを考えてみましょう。

(スローガン・・・運動の目的を、簡潔に言い表した覚えやすい標語)

【スローガン】

- 部門1 こうれいしゃ こうつうじ こぼうし
高齢者の交通事故防止
- 部門2 こうつうじ こぼうし
こどもの交通事故防止
- 部門3 ゆうぐれ とき やかん こうつうじ こぼうし
夕暮れ時から夜間の交通事故防止
- 部門4 じてんしゃ あんぜんりよう すいしん
自転車の安全利用の推進
- 部門5 いんしゅうてん こんぜつ
飲酒運転の根絶



茨城県交通安全キャラクター
ストップくんとその家族

○1つの部門から応募ができます。最大で6作品の応募が可能です。

※応募は1部門1作品

○優秀作品には賞状と副賞（商品券）を贈呈します。

茨城県の交通事情

	交通事故 発生件数	重傷者数	死者数（全国ワースト順位）	高齢者(65歳以上) 死者数（全国ワースト順位）
R5	6,489人	654人	93人（10位）	47人（7位）
R6	6,005人	649人	94人（9位）	54人（9位）

- ・全国的にみても事故発生件数や死者数がやや高めであり、特に高齢者が関係する事故が多い。
- ・信号機のない横断歩道で、車両の一時停止率が低く、歩行者の安全確保が課題となっている。
- ・飲酒運転による事故や自転車が関係する事故も一定数発生している。

※詳しい統計や分析は、茨城県警察の公式サイトで確認できます。

スローガンを作るときに考えてもらいたいこと

- 高齢者を交通事故から守ろう。
高齢者の交通事故が増えています。自転車で高齢者の近くを通る場合など「思いやり運転」をしましょう。また、夕方に外出する場合など、反射材の着用を呼びかけましょう。
- 道路を歩くときは、「見る・止まる・待つ」を忘れないで。
道路には、車や自転車がたくさん走っているので、まわりをよく見て、車や自転車が近づいてきたら、ぜったいに飛び出したりしないようにしましょう。
- 友だちといっしょのときも、ふざけっこはぜったいにやめよう。
友だちといっしょに歩くのはとても楽しいことですが、道路でふざけて、おいかけっこや飛び出しをすることは大変危険ですので、ぜったいにしないようにしましょう。
- 暗い道はとくに注意して通行しよう。
夕方、暗くなると、車や自転車からは歩いている人が見えにくくなるため、暗くなるまえに、家に帰りましょう。暗くなってから道を通行するときは、反射材を必ず身に着けましょう。
- 自転車にのるときは、ルールを守って。
自転車にのるときは、ヘルメットをかぶって、道路の左がわを走りましょう。道路を渡るまえや、交差点のまえでは、かならず止まって、前後左右をよく見て、安全をたしかめてから渡りましょう。
- 飲酒運転は絶対にダメ。
飲酒運転は取り返しのつかない大きな事故につながります。大切な命を守るため、お酒を飲んだら絶対に運転しないように、家族のみんなに伝えましょう。
- 茨城県は道路が長い
茨城県の道路総延長（道路の走っている距離の合計）は全国で2番目の長さで、車を利用した生活が盛んであり、その分事故に遭う危険性が高いといえます。そのため、道路を歩行する時や、自転車を運転する時は、常に車が来ないか注意を払いましょう。



どんどん
おうぼ
応募してね

ストップくん

交通安全スローガンをつくろう

令和8年度から令和12年度の5年間にわたって使用する

茨城県交通安全運動のスローガンを募集します

裏面を参考に各部門のテーマにあったスローガンを考えてみましょう。

(スローガン・・・運動の目的を、簡潔に言い表した覚えやすい標語)

【スローガン】

- 部門1 高齢者の交通事故防止
- 部門2 こどもの交通事故防止
- 部門3 夕暮れ時から夜間の交通事故防止
- 部門4 自転車の安全利用の推進
- 部門5 飲酒運転の根絶



茨城県交通安全キャラクター
ストップくんとその家族

○1つの部門から応募ができます。最大で6作品の応募が可能です。

※応募は1部門1作品

○優秀作品には賞状と副賞（商品券）を贈呈します。

茨城県の交通状況

	交通事故 発生件数	重傷者数	死者数（全国ワースト順位）	高齢者(65歳以上) 死者数（全国ワースト順位）
R5	6,489人	654人	93人（10位）	47人（7位）
R6	6,005人	649人	94人（9位）	54人（9位）

- ・全国的にみても事故発生件数や死者数がやや高めであり、特に高齢者が関係する事故が多い。
- ・信号機のない横断歩道で車両の一時停止率が低く、歩行者の安全確保が課題となっている。
- ・飲酒運転による事故や自転車が関係する事故も一定数発生している。

※詳しい統計や分析は、茨城県警察の公式サイトで確認できます。

スローガンを作るときに考えてもらいたいこと

○ 高齢者を交通事故から守ろう。

高齢者の交通事故が増えています。自転車で高齢者の近くを通る場合など「思いやり運転」をしましょう。また、夕方に外出する場合など、反射材の着用を呼びかけましょう。

○ 道路を歩くときは、「見る・止まる・待つ」を忘れないで。

道路には、車や自転車がたくさん走っているので、まわりをよく見て、車や自転車が近づいてきたら、絶対に飛び出したりしないようにしましょう。

○ 暗い道はとくに注意して通行しよう。

夕方、暗くなると、車や自転車からは歩いている人が見えにくくなります。なるべく暗くなるまえに、家に帰るようにしましょう。暗くなってから道を通行するときは、反射材を必ず身に着けましょう。

○ 自転車にのるときは、ルールを守って。

自転車に乗るときは、ヘルメットを被って、道路の左側を走りましょう。道路を渡るまえや、交差点のまえでは、かならず前後左右をよく見て、安全を確かめてから渡りましょう。

○ 飲酒運転をさせない。

飲酒運転をすると、重大事故を起こす可能性が高くなります。家族が車や自転車を運転するときには、飲酒運転、酒気帯び運転をしないよう、みんなで確認しましょう。

○ 茨城県は道路が長い

茨城県の道路総延長（道路の走っている距離の合計）は全国で2番目の長さで、車を利用した生活が盛んであり、その分事故に遭う危険性が高いといえます。そのため、道を歩行する時や、自転車を運転する時は、常に車が来ないか注意を払いましょう。

